

2017 | 12月期 第2四半期 決算説明会資料

(2017年1月1日～2017年6月30日)

2017年8月24日

日本フェンオール株式会社

Contents

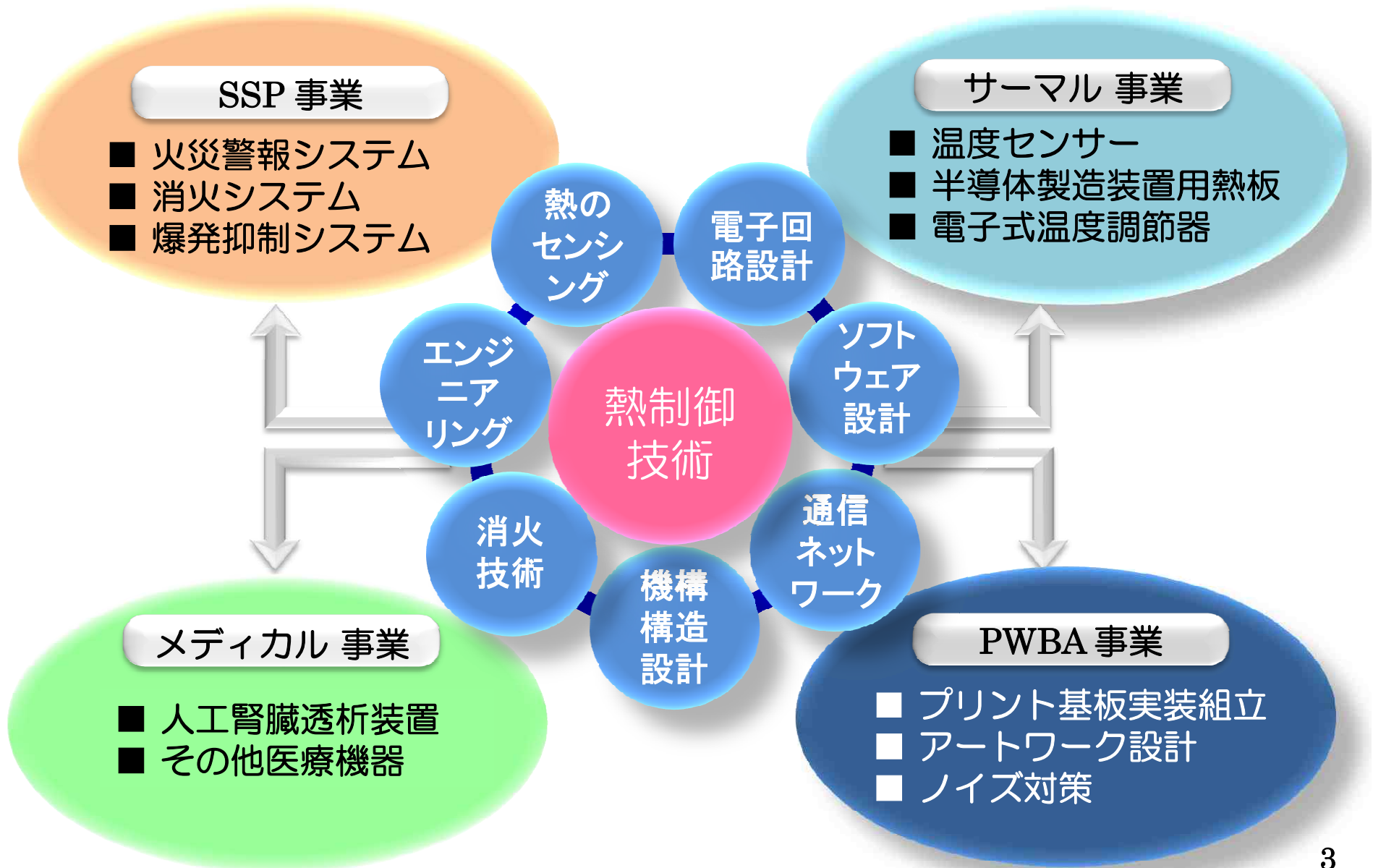
	頁
1. 事業概要	2
2. 2017年 第 2 四半期 連結決算概要	5
セグメント別実績	9
投資・財務概況・経営指標	14
3. 2017年度 通期連結業績見通し	20
2017年度 配当について	25
4. 新・中期 3ヶ年経営計画 進捗	27
中期 経営目標・配当政策	35

1. 事業概要

FENWAL

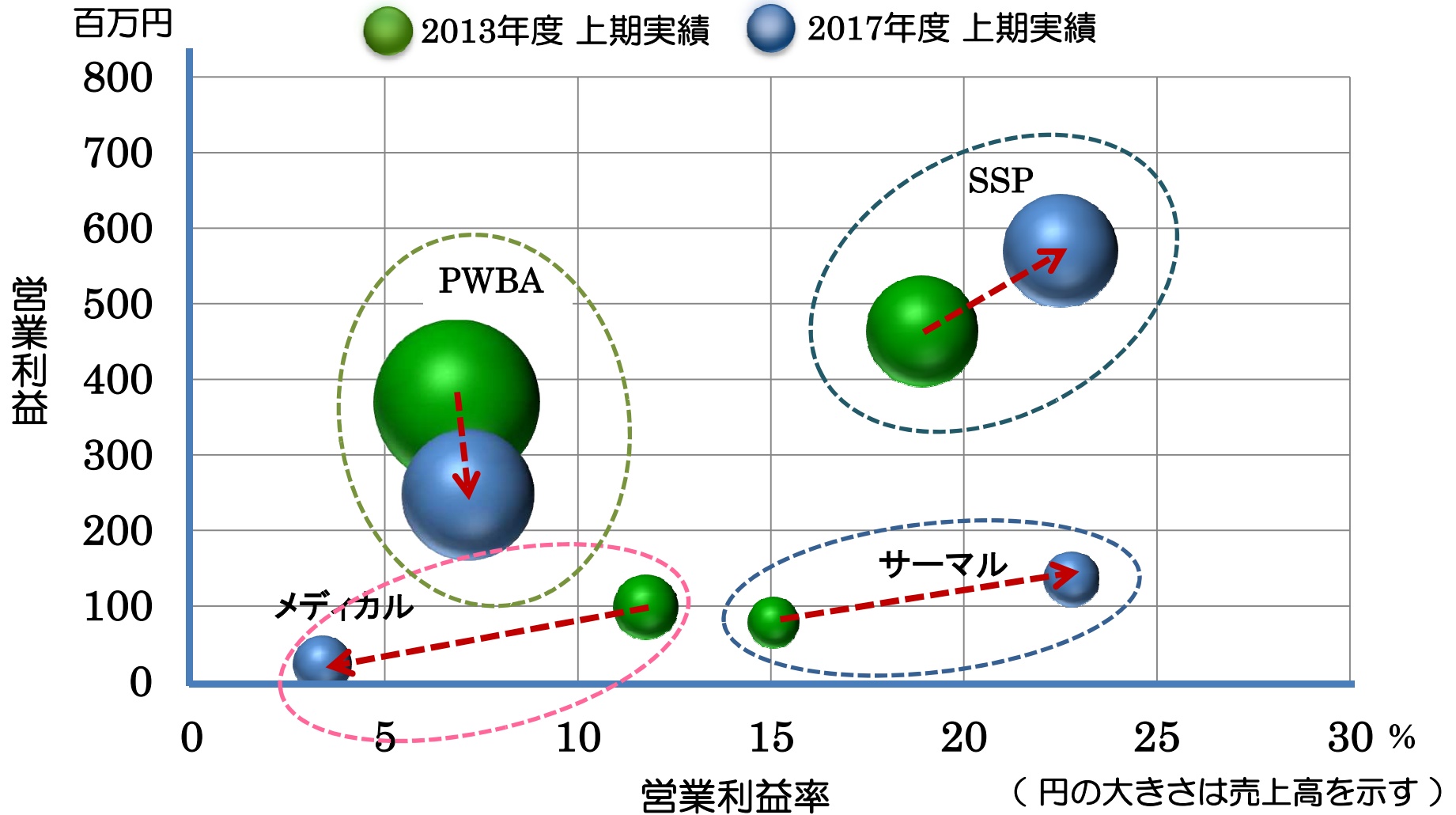


事業構成





当社事業のポジショニング



2. 2017年12月期 第2四半期 決算概要



2017年度 第2四半期の業績サマリー

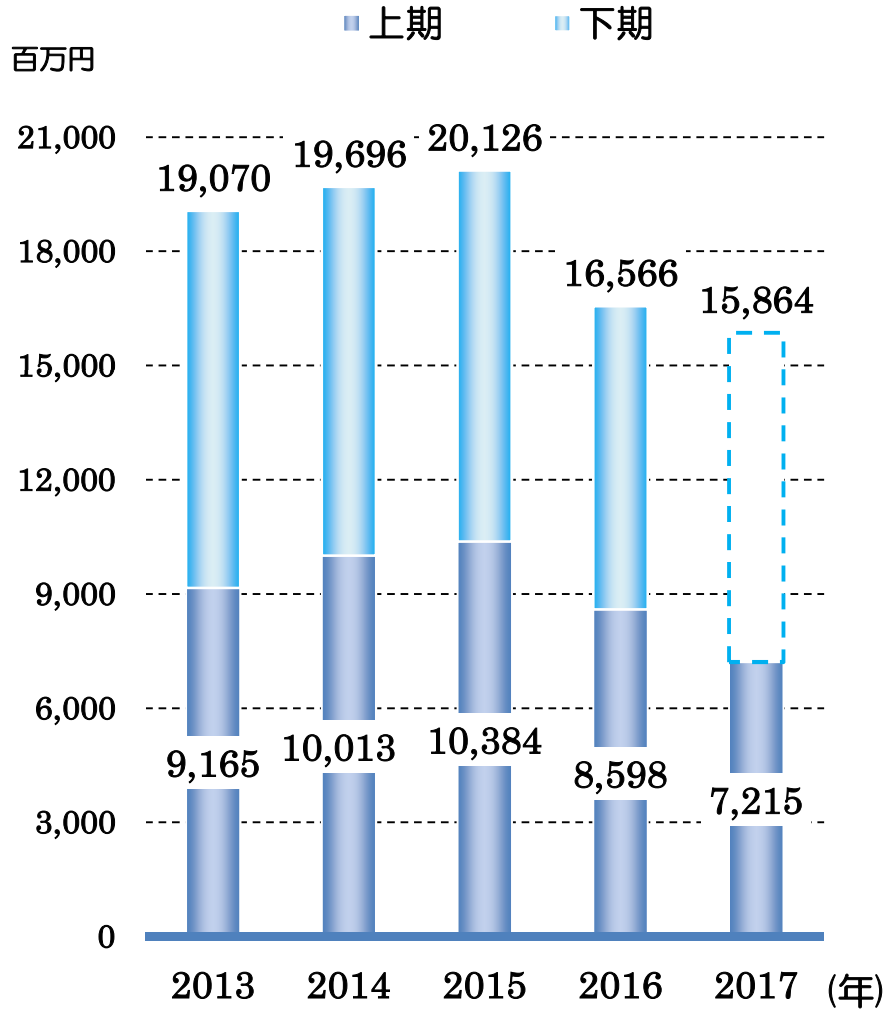
(単位：百万円)

業績項目	当期実績		当期予算		前年実績	
	実績	予算	差異率	実績	差異率	
■ 受 注	7,849	6,678	17.5%	8,164	△3.9%	
■ 売 上	7,215	6,819	5.8%	8,598	△16.1%	
■ 売 上 総 利 益	1,697	1,388	22.2%	1,863	△8.9%	
■ 販 管 費	964	1,025	△6.0%	966	△0.2%	
■ 営 業 利 益	733	362	102.2%	897	△18.3%	
■ 営 業 外 損 益	53	23	124.7%	0	—	
■ 経 常 利 益	786	386	103.6%	897	△12.4%	
■ 四 半 期 純 利 益	561	280	100.2%	623	△10.0%	
■ 1株当り純利益(円)	95.21	47.55	100.2%	105.78	△10.0%	
■ 平均レート(円)	112.76	100.00	12.8%	113.05	△0.3%	

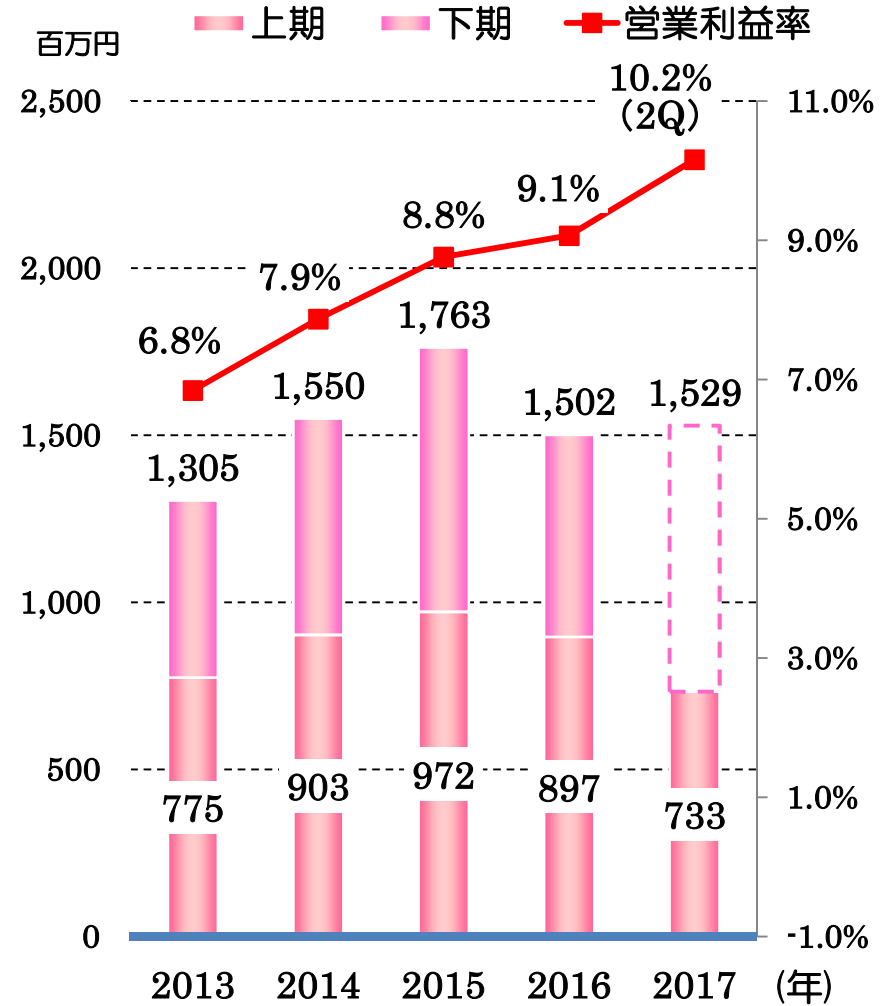


業績推移

売上高



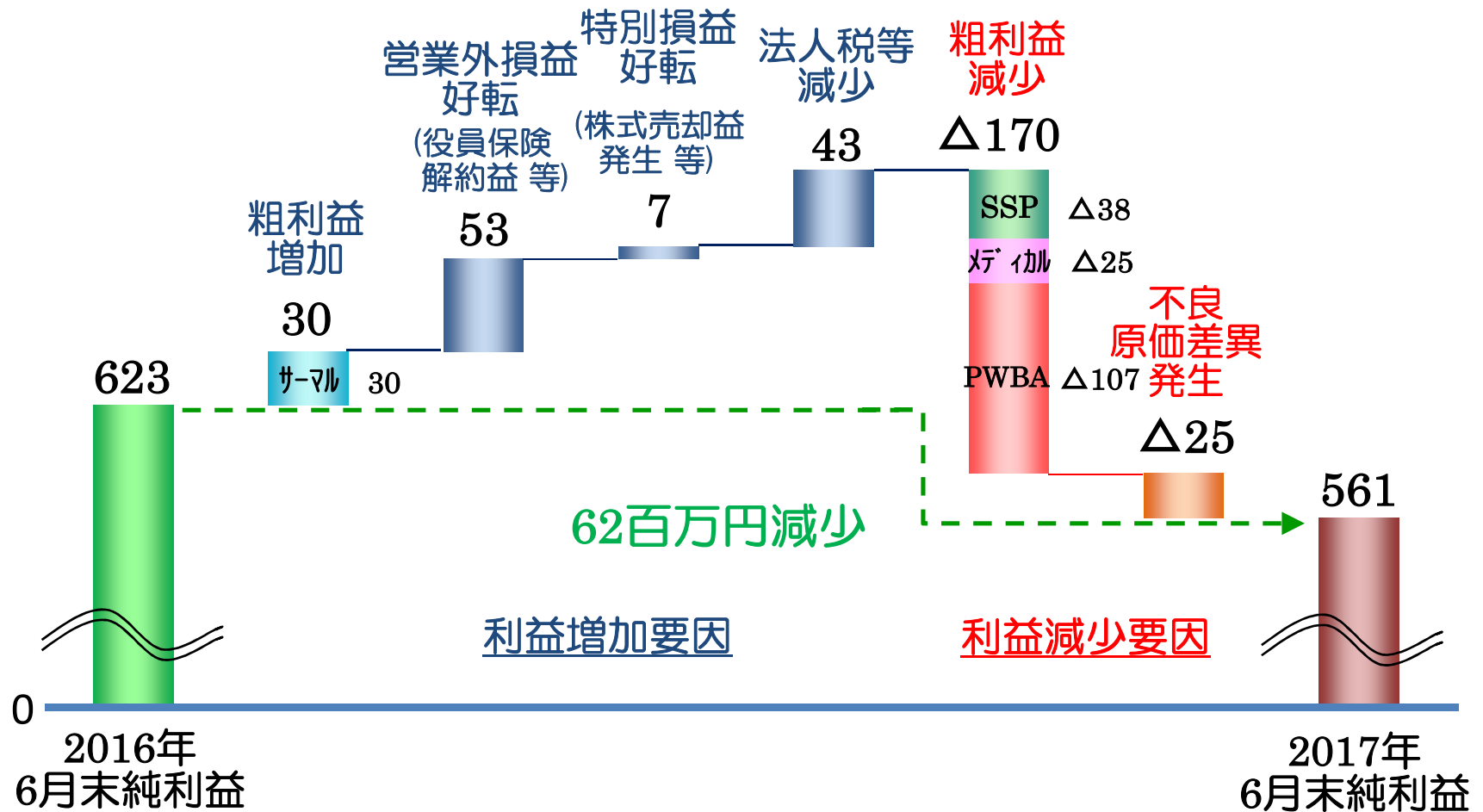
営業利益





第2四半期前年同期比 利益増減要因

(単位：百万円)



セグメント別実績

FENWAL



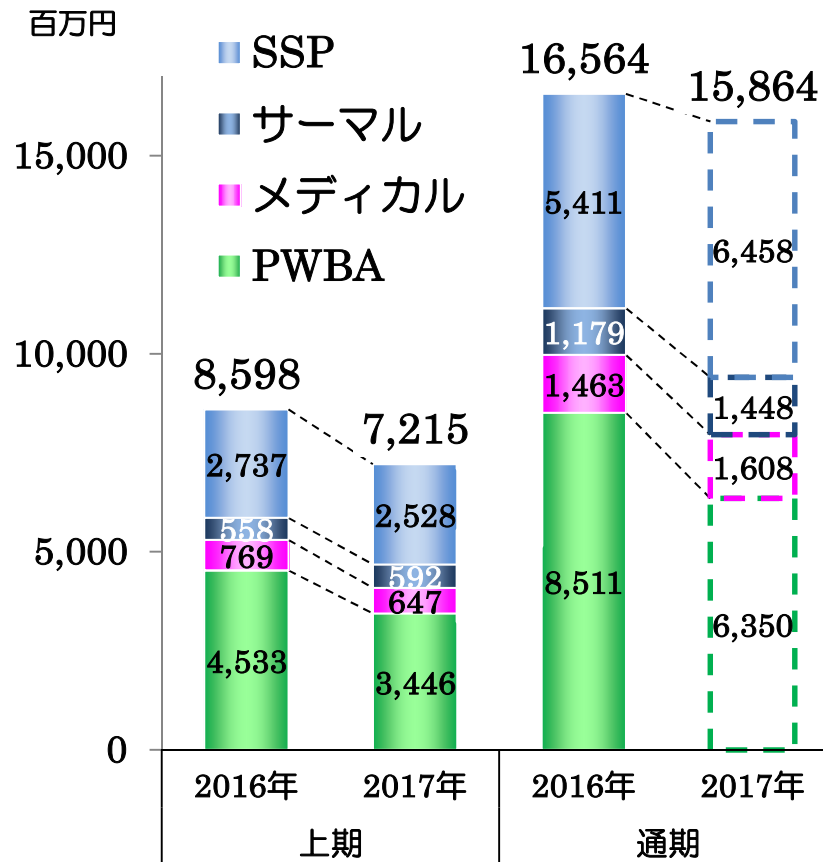
セグメント別業績概要

SSP	減収 減益	売上高、セグメント利益とも減少 <ul style="list-style-type: none">■ 基幹産業向け防災設備の施行進捗の遅れ■ 防災意識の高まりからFシリーズ 好調
サーマル	増収 増益	売上高 6.2%増加、セグメント利益 38.4%増加 <ul style="list-style-type: none">■ 半導体製造装置向け製品の増加■ サーマル部門もFシリーズ が好調で利益率上昇
メディカル	減収 減益	売上高、セグメント利益とも減少 <ul style="list-style-type: none">■ 人工腎臓透析装置の販売が振るわず■ 関連の部品販売についても大幅に減少
PWBA	減収 減益	主要取引先への出荷が大幅に減少 <ul style="list-style-type: none">■ 海外売上高前期比28.3%減少■ 医療機器向け出荷増によりセグメント利益率改善

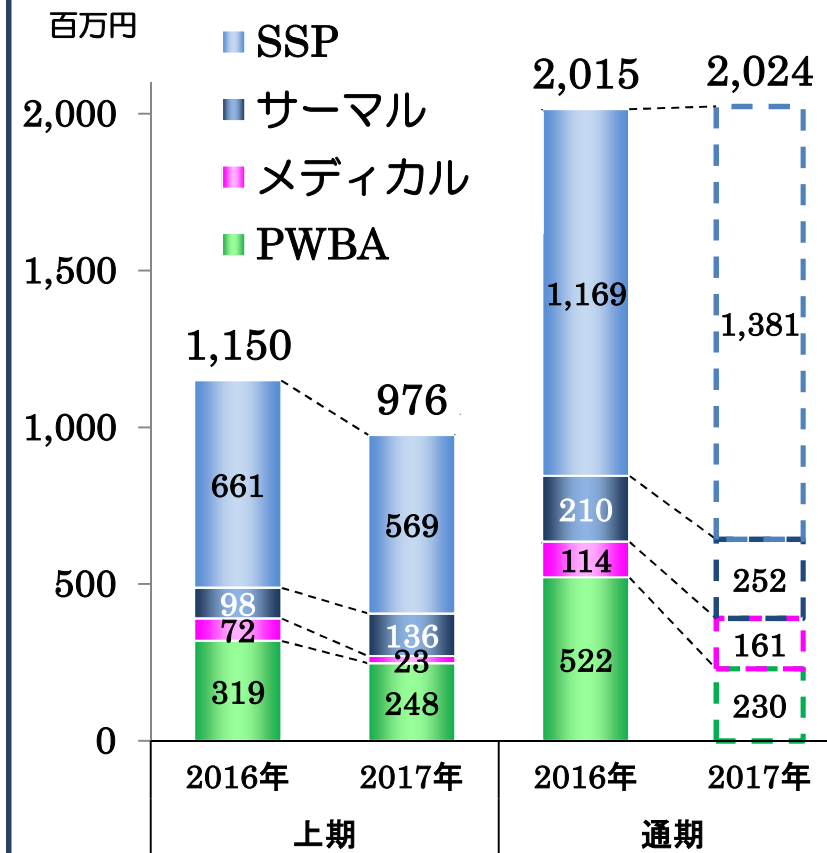


セグメント別増減明細

売上高の増減



セグメント利益の増減





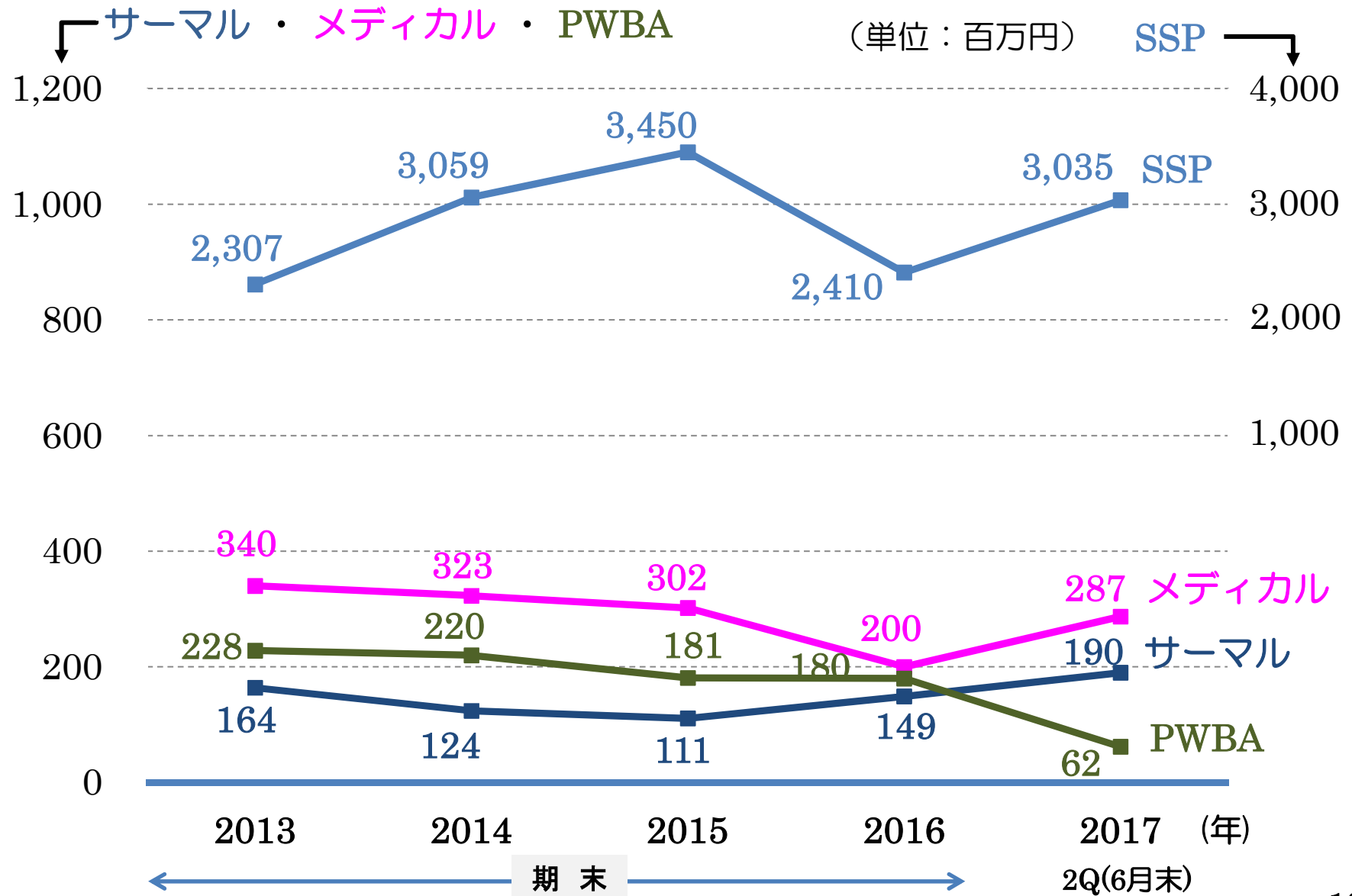
セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

セグメント	売上高		営業利益		
	金額	構成比	金額	利益率	構成比
■SSP (火報・消火システム)	2,528	35.0%	569	22.5%	58.4%
■サーマル (温度制御機器)	592	8.2%	136	23.0%	13.9%
■メディカル (透析装置)	647	9.0%	23	3.5%	2.4%
■PWBA (プリント基板実装)	3,446	47.8%	248	7.2%	25.4%
合計	7,215	100.0%	975	13.5%	100.0%



連結部門別受注残高推移



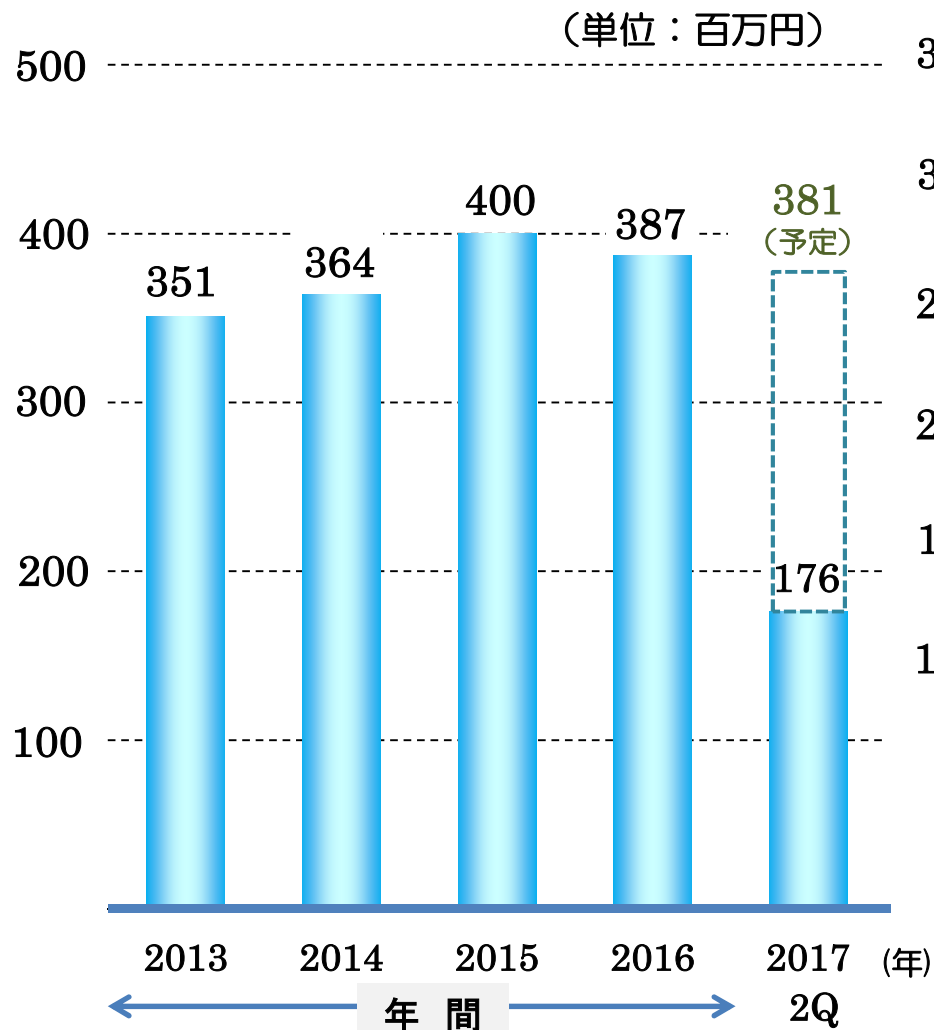
投資・財務概況・経営指標

FENWAL

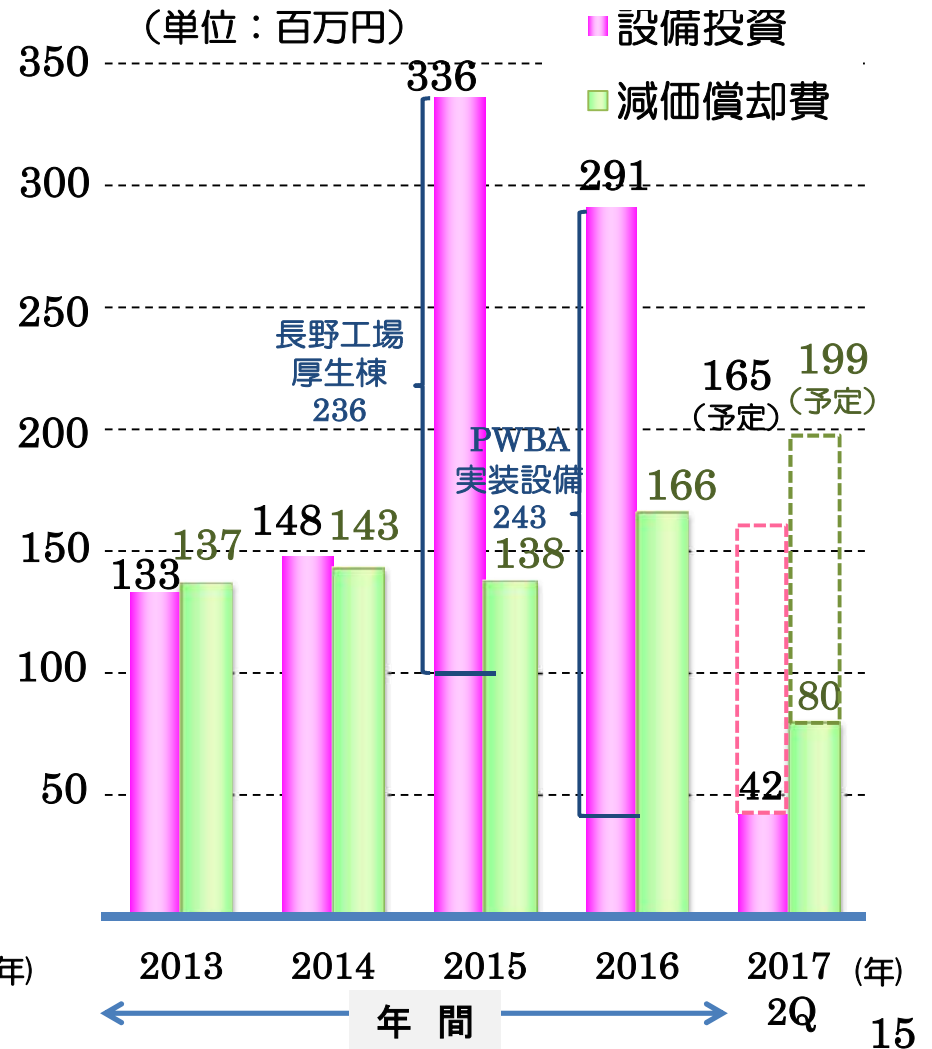


投資概況

研究開発費



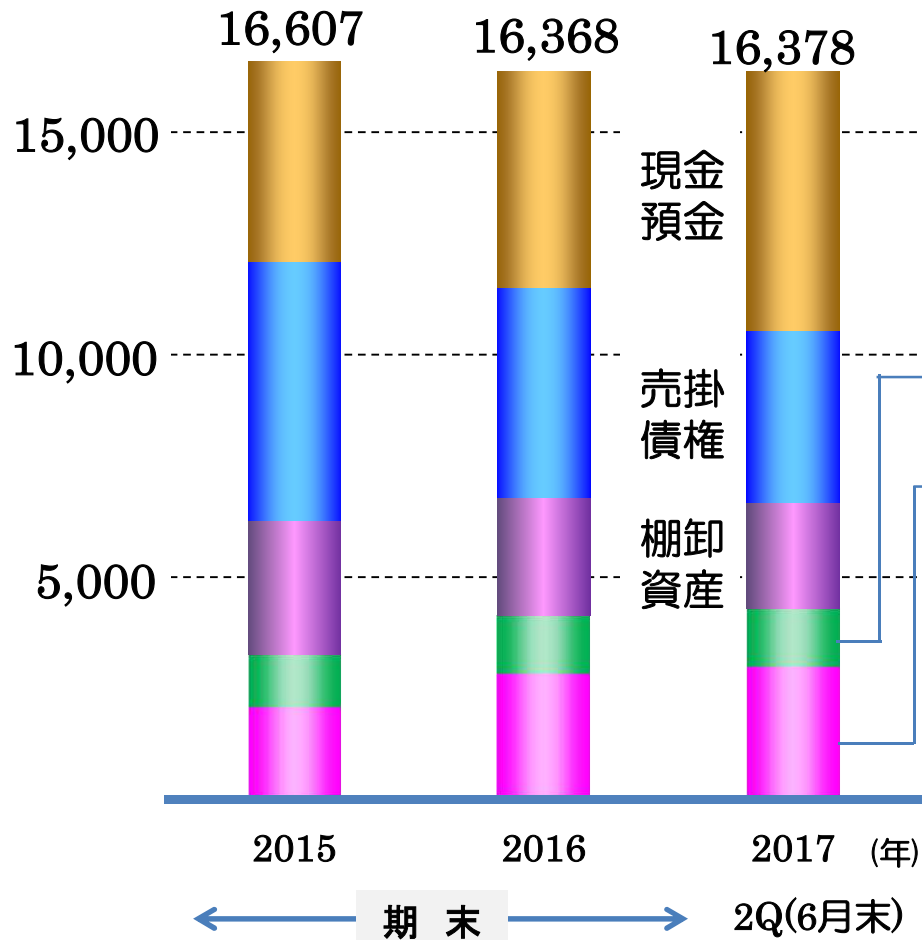
設備投資・減価償却費





連結貸借対照表(資産の部)

資産推移



増減内容

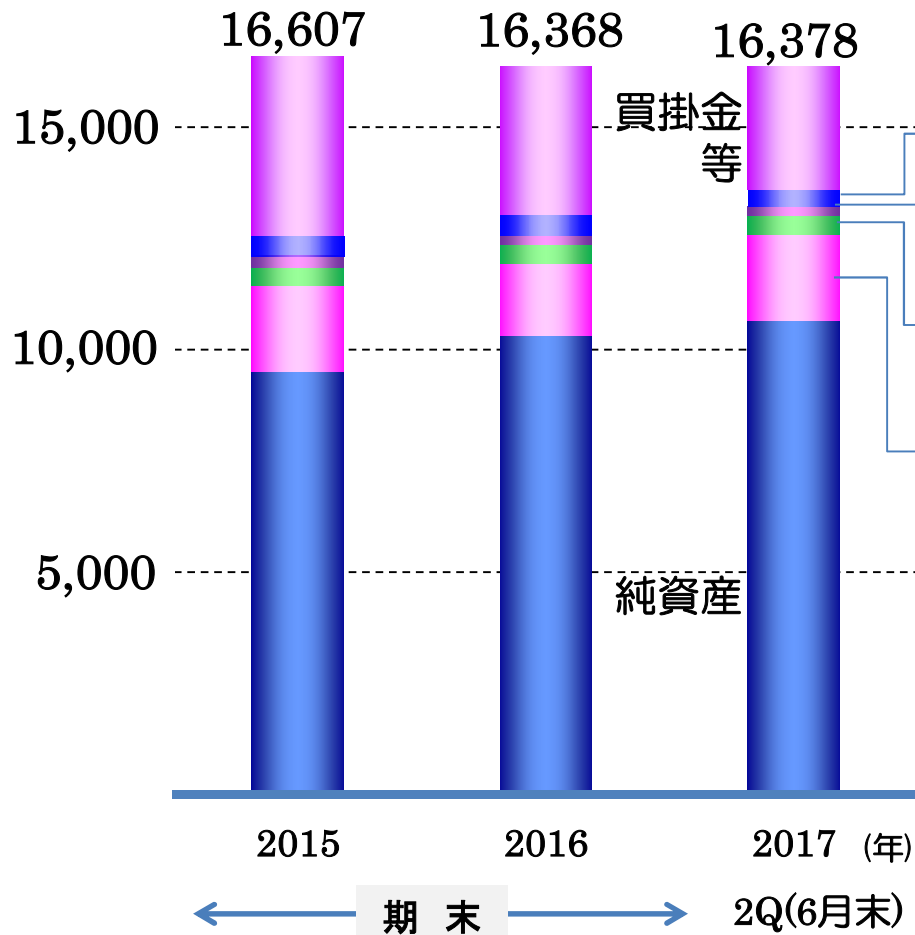
(単位: 百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
現金預金	5,830	4,851	20.2%
売掛債権	3,871	4,713	△17.9%
棚卸資産	2,387	2,663	△10.4%
固定資産	1,304	1,312	△0.7%
投資等	2,945	2,746	7.2%
その他	41	83	△50.6%
合計	16,378	16,368	0.1%



連結貸借対照表(負債・純資産の部)

負債・純資産推移



増減内容

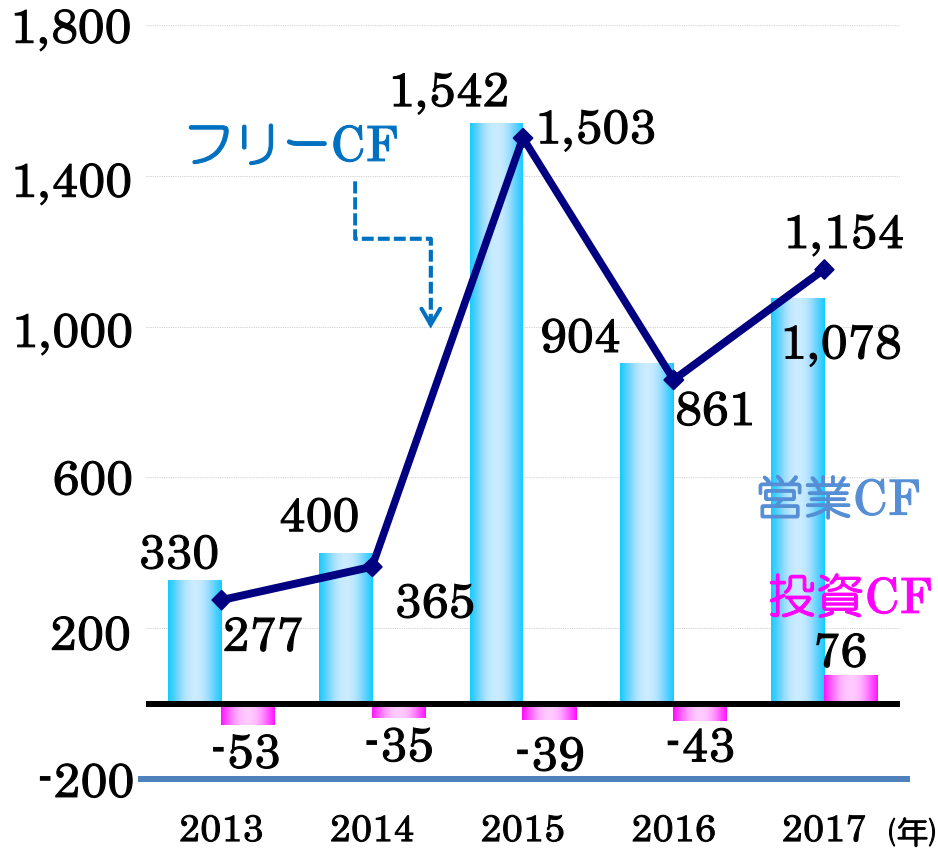
(単位：百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
買掛金等	2,768	3,333	△17.0%
社債	384	452	△15.2%
未払法人税等	203	203	△0.5%
退職給付	418	442	△5.4%
その他	1,066	999	20.4%
純資産	10,650	10,311	3.3%
合計	16,378	16,368	0.1%



キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ・フロー推移



← 2Q累計 →

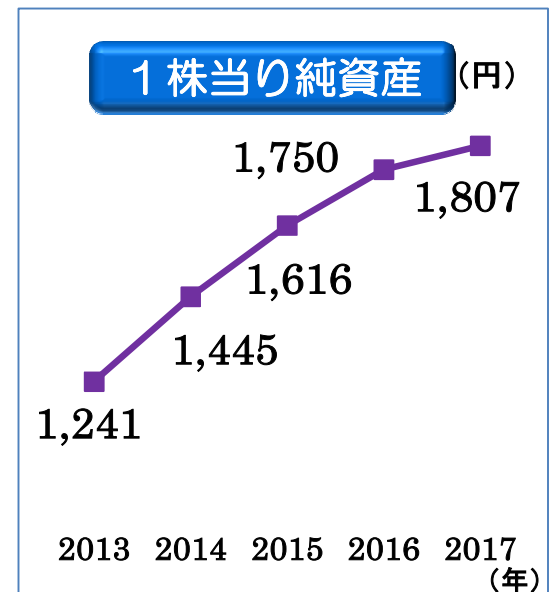
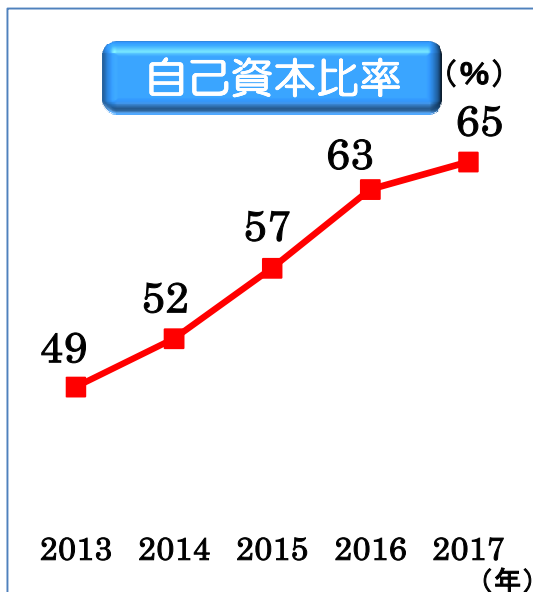
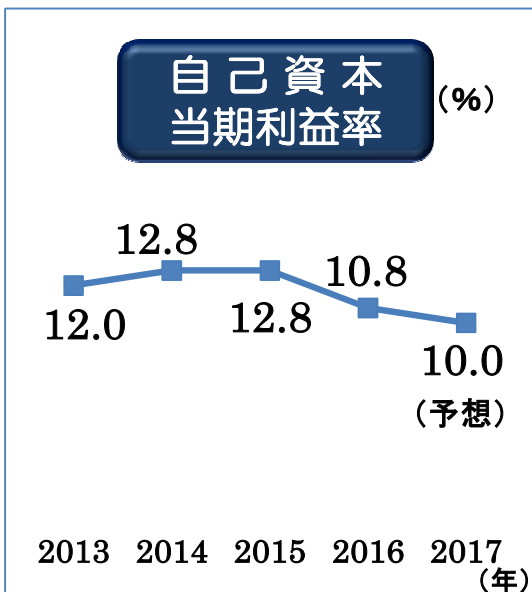
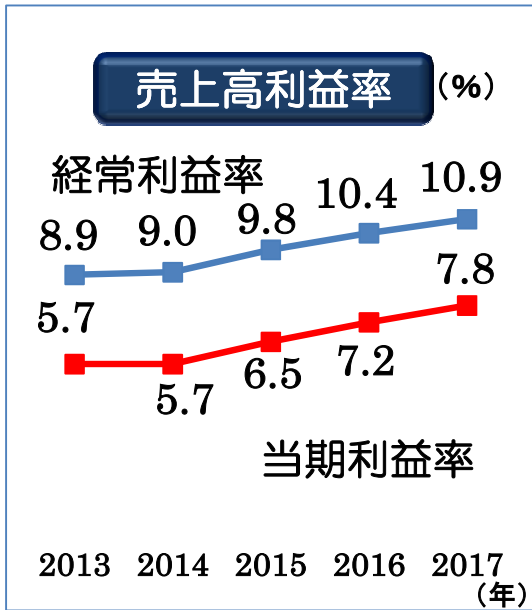
増減内容

(単位: 百万円)

項目	当期	前期	増減率
営業CF	1,078	904	19.2%
投資CF	76	△43	—
財務CF	△114	△9	—
換算差額	△61	△218	72.0%
合計	979	632	54.8%
期首残高	4,851	4,002	21.2%
期末残高	5,829	4,634	25.8%
フリーCF	1,154	861	34.0%




経営指標



3. 2017年度 通期連結業績見通し



代表者プロフィール

氏名	田原 仁志 (たはら ひとし)	
生年月日	1957年1月26日 (60才)	
出身地	東京都	
趣味・特技	旅行、ゴルフ	
座右の銘	意志あるところに道は開ける	
経歴	1979年 3月 慶應義塾大学 商学部 卒業 1979年 4月 清水建設株式会社 入社 2006年 4月 同社 建築事業本部 第二営業本部 営業部長 2012年 4月 同社 建築事業本部 第一営業本部 営業部長 2015年 7月 当社入社 SSP営業統括部 副統括部長 2015年 10月 当社 SSP営業統括部 統括部長 (現任) 2016年 3月 当社 取締役 2016年 3月 当社 常務取締役 2017年 3月 当社 代表取締役社長 (現任) フェンオール設備(株) 代表取締役社長 (現任)	



- オンリーワン商品を増やし、
これを収益の柱にする
- 売上規模の拡大は追わずに
収益性にこだわる
- スピード重視
～俊敏な経営のためには迅速な意思決定を～
- 各組織が少数精鋭の自立した
「考える集団」となること



2017年度連結計画サマリー

※ 通期予想の変更はございません

(単位：百万円)

計画項目	前期比	
	2016 実績	増減率
■ 売上高	16,566	△4.2%
■ 売上総利益	3,569	2.5%
■ 販管費	2,066	3.0%
■ 営業利益	1,502	1.8%
■ 営業外損益	47	6.4%
■ 経常利益	1,550	1.3%
■ 当期純利益	1,073	3.6%

※想定為替レート：1USドル=100円



全社の見通し

業績の推移（実績・予想）



【減収・増益 予想】

- ・ 売上高 前期比 $\Delta 4.2\%$
- ・ 営業利益 前期比 1.8%

売上減少はPWBAの落ち込みの影響が大きいものの、利益面では利益率の高いSSP、サーマルが堅調であるため、全体の利益を押し上げている

- SSPは、原発向けが引き続き好調、Fシリーズも伸長し、計画以上を目指す
- サーマルは、半導体業界の拡大のため業績伸長、計画以上を目指す
- メディカルは、海外向け透析装置の販売が厳しく、計画未達の恐れあり
- PWBAは、前年比では減少するものの、固定費削減効果もあり計画以上を目指す

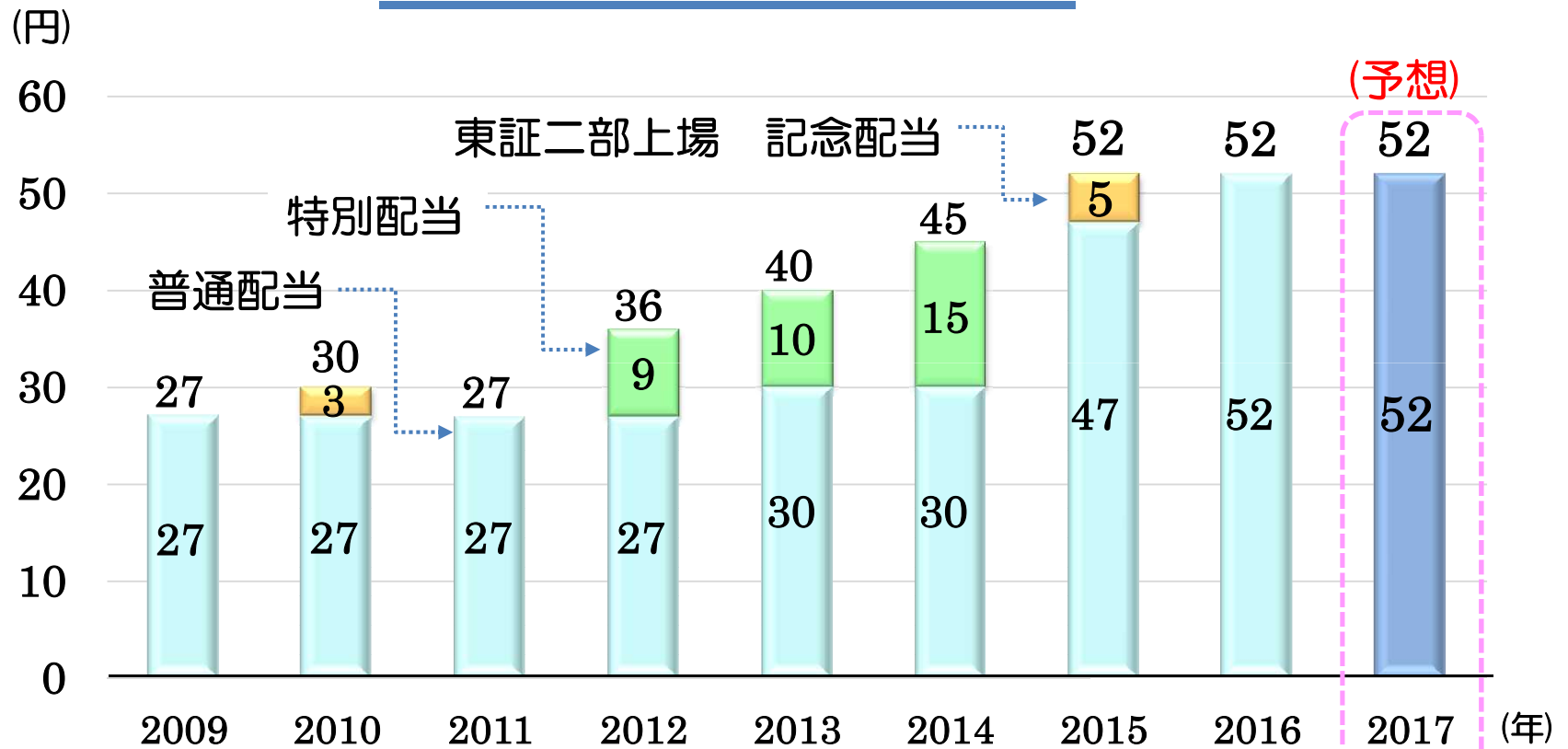
2017年度 配当について

FENWAL



配当金の推移

1 株当たりの配当金推移



当期純利益 (百万円)	191	182	256	779	874	1,009	1,158	1,073	1,111
配当性向 (%)	83.3	97.1	62.1	27.2	26.9	26.2	26.4	28.5	27.5

4. 新・中期 3 ヶ年経営計画 進捗



持続的成長の実現

SSP

- オンリーワン商品の市場浸透
- 原子力発電所向けビジネスの拡充
- 差別化できるガス消火システム開発
- 安定収益が見込めるメンテナンス営業の更なる強化

サーマル

- オンリーワン商品を開発する
- 半導体業界におけるシェア拡大

メディカル

- 主要顧客からの顧客満足度向上による売上アップと収益拡大
- 第一種医療機器製造販売業許可を生かして新製品受託開発案件量と販売実績を積み上げる

PWBA

- 売上高急減に対応した生産体制の再構築
- 生産コストの低減により新規顧客からの受注を増やす

研究開発

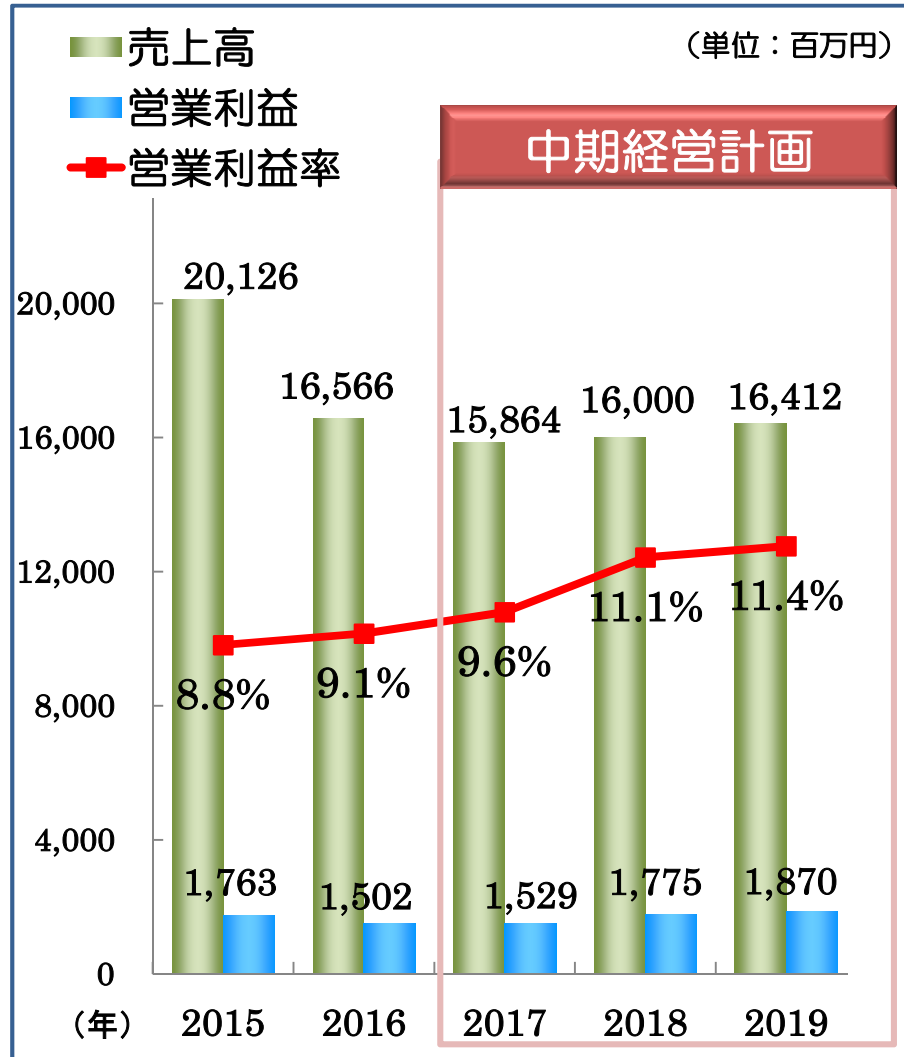
- オンリーワン商品を生み出す発想力を高める
- 開発技術の向上
- 開発速度の向上と開発納期の遵守

工場

- 現在の低生産性状態からの脱却
- 人員体制を見直し作業効率の改善による効率性向上



「2017-2019年度」中期経営計画（全体計画）

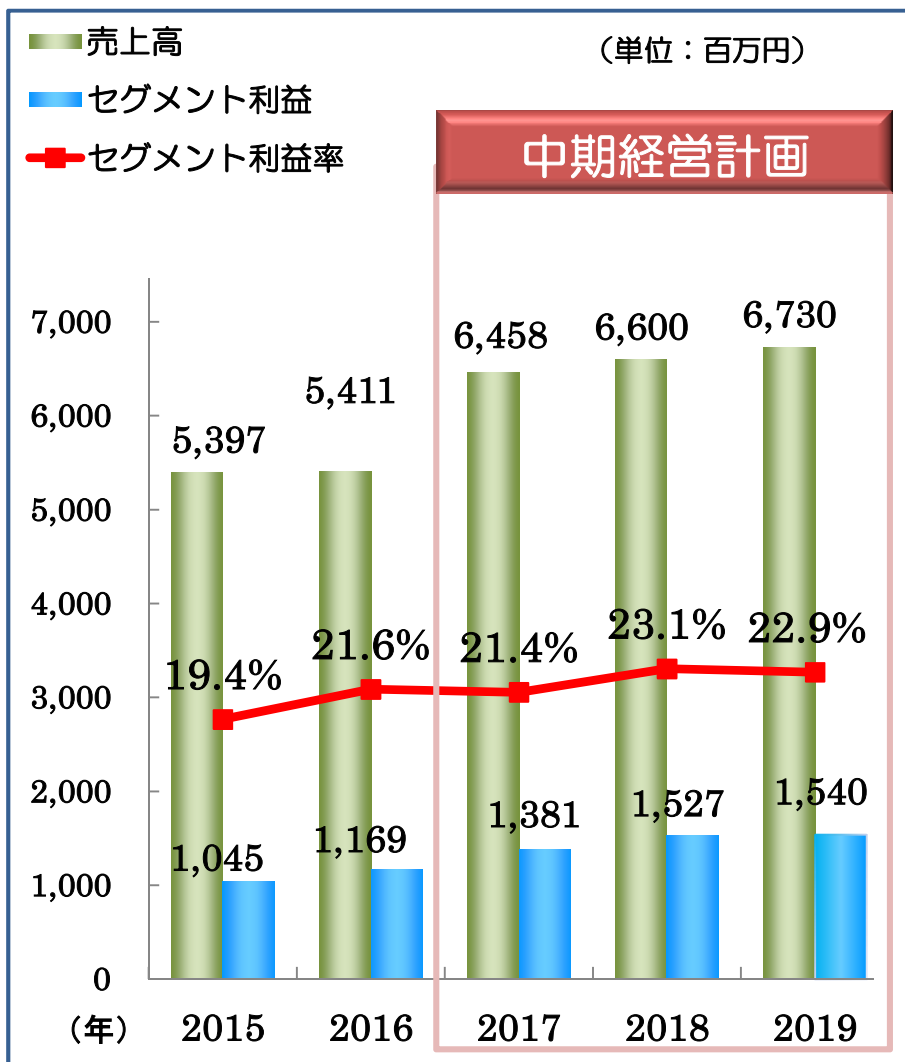


数値目標

（単位：百万円）

	2016年	2019年
売上高	16,566	16,412
営業利益	1,502	1,870
営業利益率	9.1%	11.4%

PWBAの売上減少の影響が大きく、売上高の拡大は見込めないものの、利益面では、SSPの差別化された高付加価値製品やサーマルの半導体市場向け製品など、利益率の高い製品が堅調に推移すると見込んでおり、営業利益率は高まる計画としている。



重点施策

産業分野に於ける
特殊防災のリーダーを目指す

- ・ 差別化された商品ラインアップのさらなる充実
- ・ 差別化された商品を用い、新たな市場を創り拡販を目指す
- ・ 差別化された商品の海外展開を目指す
- ・ 再稼働原発に対するガス消火、火報設備の販売拡大
- ・ 安定収益が見込めるメンテ営業の強化

防爆型煙感知器



Fシリーズ



吸引式超高感度煙検知 (SAS)





差別化された高付加価値の商品ラインアップ

	品名	型番	外観	発売日	設置例
1	世界初耐圧防爆型煙感知器	FLS-2E		2016年	石油、化学プラント 水素関連施設
2	世界最小の煙感知器 (Fシリーズ)	F11		2008年	半導体液晶製造装置 各種制御盤、分電盤
3	世界初吸引ファン内蔵の吸引式煙感知器 (Fシリーズ)	F1HQ		2013年	サーバー室 リチウム電池製造ライン 精密測定機
4	世界初吸引ファンを用いない吸引式煙感知器 (Fシリーズ)	新製品		2017年 12月予定	
5	世界初アドレス付吸引式煙感知システム (Fシリーズ)	SAS		2011年	サーバー室 原発等の分電盤、制御盤 クリーンルーム
6	日本で当社のみ販売 - 爆発抑制システム	IEP		1967年	製鉄、化学プラント 食品、リサイクル施設

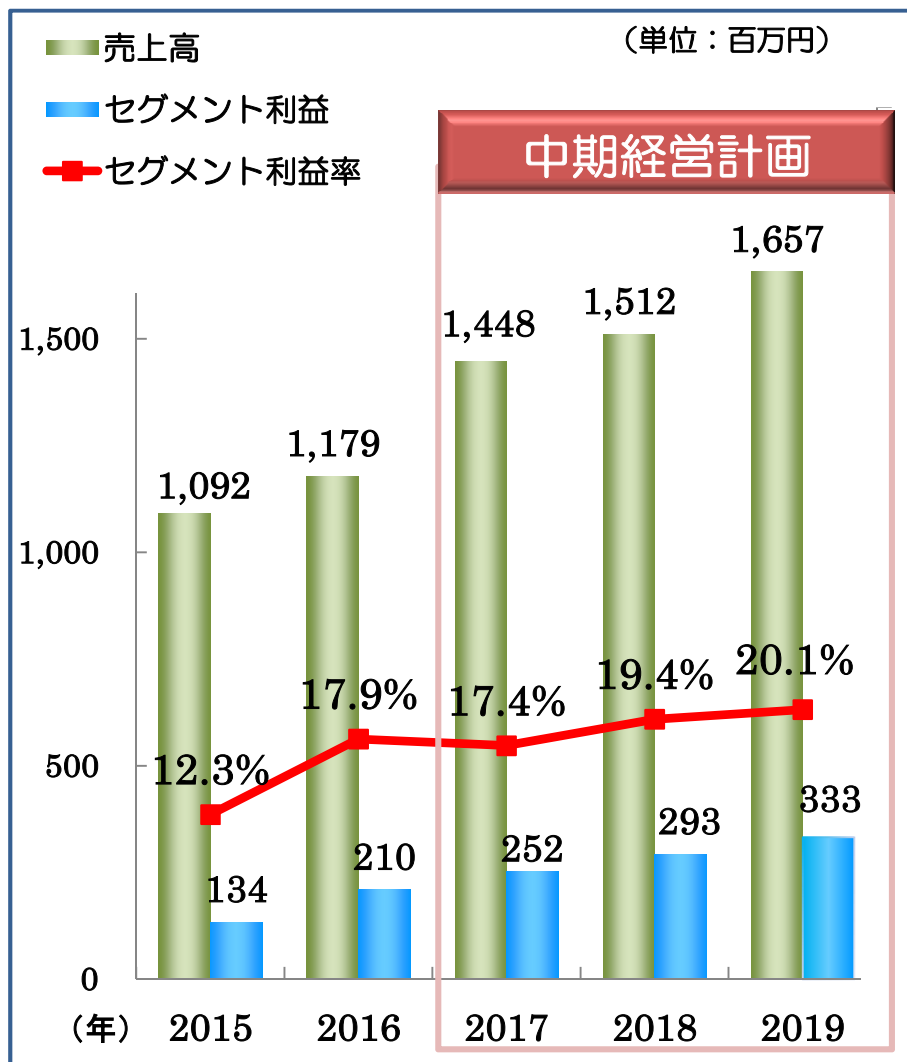
- SSP事業は産業用特殊防災という市場に絞り込む事で他の競合メーカーと比べ売上高は小さいものの高い収益性を実現してきた。
- 差別化された製品の価値が市場に浸透し、引合が増加中。
- 上記1~5で特許5件取得、2件申請中。

(参考)

Fシリーズの販売状況 (2017年度)
前年比：売上額 76% 増、利益額 56% 増



サーマル事業



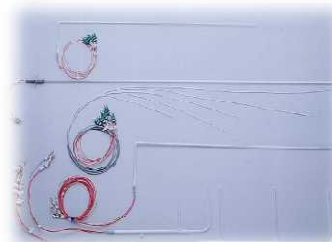
重点施策

製造装置メーカーに選ばれる製品開発

- ・エンドユーザーのニーズを踏まえた、装置メーカーへの提案力強化
- ・差別化された自社製品を開発
- ・得意分野及び既存客先の横への展開を強化
- ・品質管理体制の強化

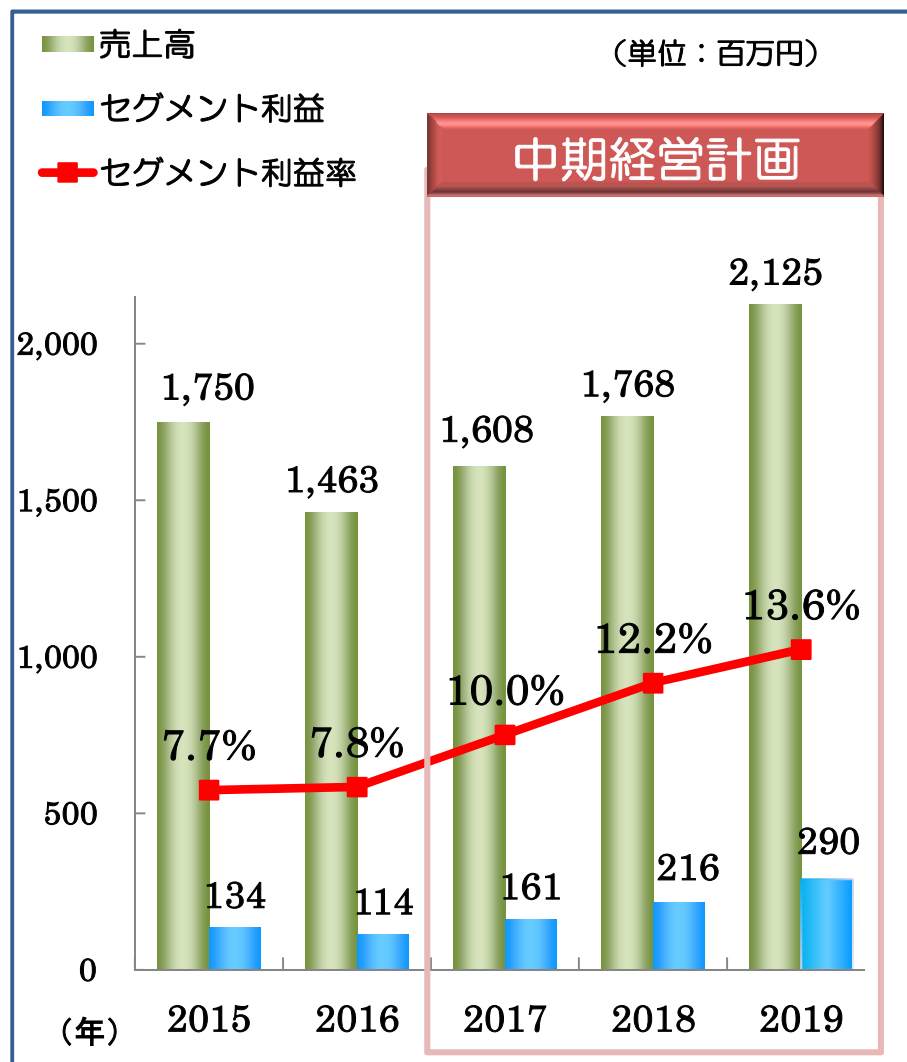
温度センサー

半導体製造装置用熱板





メディカル事業



重点施策

メディカル分野での認知度向上を目指す

- ・ 主要顧客との開発連携強化
- ・ 高齢者社会、
特に老人介護等向けの新製品を開発
- ・ 人工透析器と並ぶ
もう一つ売り上げの柱になる製品を創出

人工腎臓透析装置

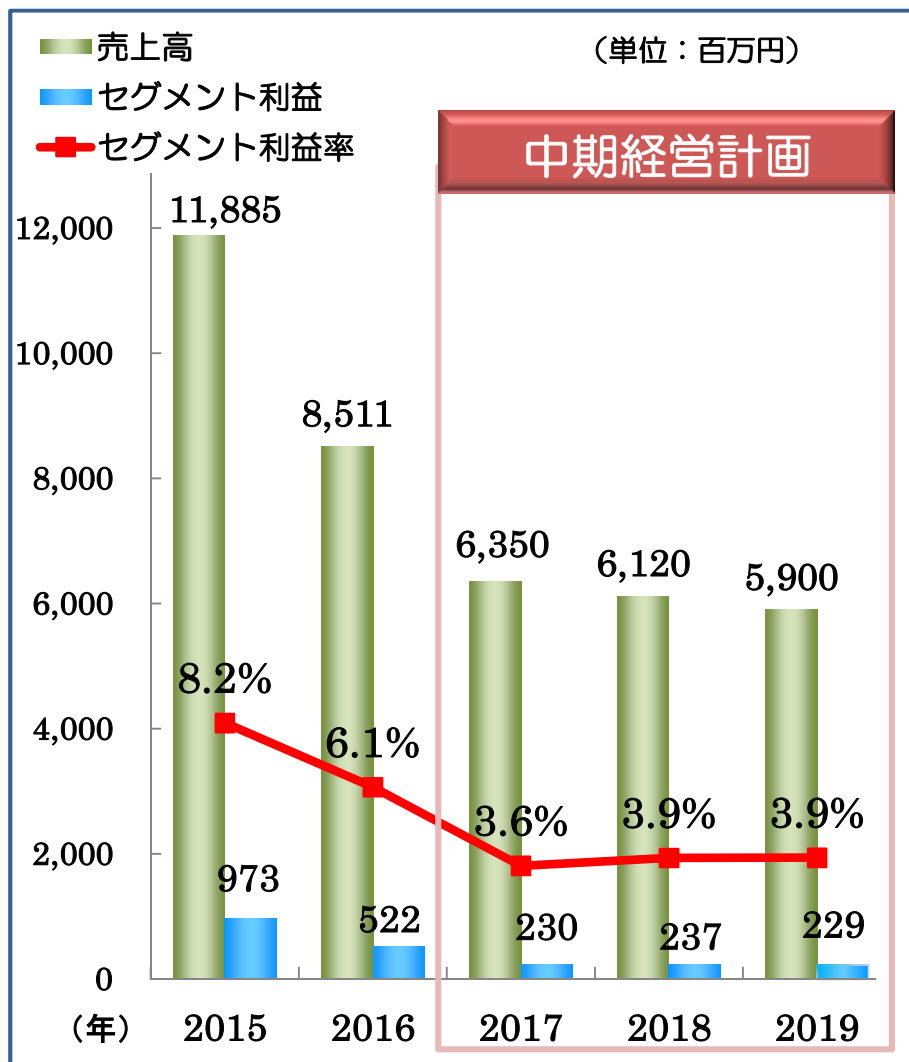


冷温水機



脈波血圧計





重点施策

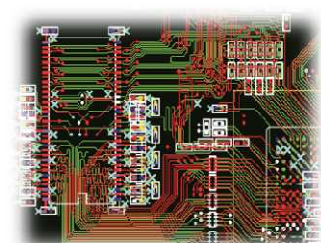
コスト競争力の強化

- ・生産性、稼働率を更に高め
生産現場でのコストダウンを図る
- ・購入部材のコストダウンを徹底
- ・新規開拓を強化し、
一社依存体質からの脱却を図る
- ・カスタマーレスポンスの改善

プリント基板



基板パターン設計



中期 経営目標・配当政策

FENWAL



中期 経営目標・配当政策

経営目標

- ・利益拡大に全力を傾注し、収益力の強化を図り、ROEの向上に努める

ROE目標値 12%以上
(2016年度 10.8%)

配当政策

- ・株主配当については、安定的な配当の継続を基本としつつ、収益状況を勘案して配当を行う

連結配当性向目標値 35%
(2016年度 28.5%)

※ 目標値は最終年度（2019年）

■ 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。